

青緑山水の時代

鉄斎



2017年9月12日[火]—11月26日[日]

前期:9月12日[火]～10月15日[日] 後期:10月21日[土]～11月26日[日]

学芸員による展示説明会

9月23日、10月7日、28日、11月11日 各土曜日 午後1時30分より

開館時間＝午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日＝月曜日 ただし9月18日、10月9日は開館、翌日休館

入館料＝一般300円、高大生200円、小中生100円

※老人・障害者手帳を提示の方、各々半額とします。



上:東嶽倦園図 下:青緑山水図(右隻)

【お問い合わせ】

鉄斎美術館

〒665-0837 兵庫県宝塚市米谷字清シ一帯地 清荒神清澄寺山内

電話 0797-84-9600 <http://www.kiyoshikojin.or.jp>

清荒神清澄寺



鉄斎美術館

TESSAI MUSEUM



青緑山水の時代 鉄斎



青緑山水図(左隻) 1912年 77歳

青緑山水とは、緑青や群青などで彩色された山水画をいいます。富岡鉄斎(1836~1924)は水墨山水を得意としたことで知られていますが、青緑山水にも優れ、精彩に富んだ数々の傑作を遺しています。

東アジアにおいて古来より人々は、隠逸思想や神仙思想にみられる理想郷を追い求め、山水風景のなかに心遊ばせました。近代日本に至り、思想的憧憬を受け継いだのが鉄斎でした。中国の画論、画法に学んで「古法の重色彩画、容易の技術にあらず」と見識を深め、伝統的な青緑山水の継承者として清新な画面を創出することを試みています。こうした意識を持った近代文人は鉄斎が唯一であり、最後の文人画家と称される所以でしょう。

本展覧会では、鉄斎にとって「青緑山水の時代」というべき70歳前後から80歳代半ばの作品を中心に、壮年期の清雅な隠棲図から最晩年の豊潤な仙境図までをご覧ください。併せて古画学習の形跡が認められる鉄斎の粉本、愛蔵本も紹介します。



武陵桃源図 1912年 77歳



梅溪清隱図
1910年 75歳



群集集會図 1916年 81歳



擬明人筆着色山水図
1868年 33歳



傳富煉丹図 明治~大正時代 70歳代

【お知らせ】

- 11月18日(土)、19日(日)は「関西文化の日」に参加しています。(入館料無料)
- 2017年11月27日(月)~2018年1月4日(木)は冬期休館いたします。

鉄斎美術館次回展覧会

「鉄斎の器玩-煎茶皆具の世界-」
2018年1月5日(金)~2月11日(日・祝)

鉄斎美術館・宝塚市立中央図書館聖光文庫共催企画

第6回聖光文庫文化講座

2017年12月3日(日) 午後1時30分~4時

第1講 「鉄斎と山本読書室」

松田 清氏(京都大学名誉教授・神戸外国語大学客員教授)

第2講 「煎茶文化と富岡鉄斎」

守屋雅史氏(神戸松蔭女子学院大学文学部教授)

会場：宝塚市立中央図書館

申込み：0797-84-6121

鉄斎美術館・宝塚市立中央図書館聖光文庫共催企画展

「蘇東坡と鉄斎の世界」

2017年12月3日(日)~2018年2月11日(日・祝)

開室時間：午前10時~午後5時

休館日：水曜、第2金曜、年末年始(12月29日~1月3日)

会場：宝塚市立中央図書館聖光文庫(入場無料)



【アクセス】

- 阪急電鉄を利用の場合……宝塚線清荒神駅下車、徒歩約20分(タクシー利用の場合は宝塚駅下車)
- JRを利用の場合……宝塚線宝塚駅下車、タクシーで約10分
- 車を利用の場合……国道176号線・宝塚歌劇場前交差点を北へ約2km 約380台駐車可能な清荒神清澄寺の無料駐車場あり



清荒神清澄寺

鉄斎美術館

TESSAI MUSEUM

〒665-0837 兵庫県宝塚市米谷字清シ一番地 清荒神清澄寺山内
TEL. 0797-84-9600 FAX. 0797-84-6699 <http://www.kiyoshikojin.or.jp>

後期特別展示



富士山図 1898年 63歳



溪山招隱図 1920年 85歳